

# 新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶんざっし み げん だい に ほん

## 第6回

だい かい

### 「書評」 「共生虫」

しょ ひょう

きょう せい ちゅう

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、中等教育機関や高等教育機関で日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業に活用できるかを提案していきます。今回は村上龍著『共生虫』の書評をとりあげます。

### 〈最近の出版事情〉

さい きん しゅつ ぼん じ じょう

昨年度、日本では月平均約3,400万冊の新刊書籍が発行されました。先天性四肢切断の障害を持つ大学生が家族や友人に囲まれて明るく前向きに生きる姿が描かれた『五体不満足』422万部、食料品や化粧品などの危険度を分析した『買ってはいけない』195万部などの、ベストセラーもありました。

しかし、出版科学研究所の調査によると、書籍の販売額は対前年比1.3%減で、2年連続減少し、日本人の本離れが見られます。雑誌も対前年比4.2%減、特にコミック誌は対前年比6%減です。実際、以前と比べて電車の中でマンガを読んでいる人を見かけることも少なくなりました。電車の中で読まれているのは、もっぱら携帯電話に届くメールのようです。

出版の形態も変わってきました。書籍を電子データ化し、注文に応じて印刷するオンデマンド出版です。この形態をとった本の一つに『共生虫』があります。

『共生虫』は、現代日本の一面を映し出した内容から話題を呼んだ本でもあります。この本はフィクションですが、インターネットを介したコミュニケーションや、「引きこもり」と言われている人（社会や家族、友人とのコミュニケーションを絶った生活をしている人）を扱い、日本で現実起こった犯罪を連想させます。

### 〈新聞記事から〉

各段落には便宜的に数字をつけました。

しん ぶん き じ

#### 「書評A」

しょひょう

朝日新聞（朝刊）2000年4月9日「『魔物が宿る文章』で引きこもりの闇描く」

『日本語教育通信』2000年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第6回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

だい かい けいさい きじ ちやくけん かんけい けいさい

〈参考1：この1000年「日本の文学者」読者人気投票〉  
さんこう ねん にほん おんがくしゃ どくしゃにんきとうひやう

1	夏目 漱石 なつめ そうせき	3516	16	森 鷗外 もり おうがい	310
2	紫 式 部 むらさき しき べ	3157	17	吉川 英治 よしかわ えいじ	275
3	司馬遼太郎 しばりょうたろう	1472	18	大江健三郎 おおいけんざぶろう	201
4	宮沢 賢治 みやざわ けんじ	1275	19	村上 龍 むらかみ りゆう	179
5	芥川龍之介 あきたがわりゅうのすけ	1149	20	石川 啄木 いしかわ たくぼく	161
6	松尾 芭蕉 まつお ばしやう	805	21	谷崎潤一郎 たにざきじゆんいちろう	160
7	太宰 治 だざい ぢ	754	22	井上 靖 いのうえ やすし	154
8	松本 清張 まつもと せいぢやう	673	23	三浦 綾子 みうら あやこ	140
9	川端 康成 かわはた やすなり	595	23	安部 公房 あべ こうぼう	140
10	三島由紀夫 みしまゆきお	542	25	高村光太郎 たかむらこうたろう	135
11	有島 武郎 ありしま たけお	462	26	藤沢 周平 ふじさわ しゅうへい	133
12	村上 春樹 むらかみ はるき	364	27	島崎 藤村 しまざき とうそん	127
13	遠藤 周作 えんどう しゅうさく	347	28	中原 中也 なかはら ちゅうや	118
14	清 少 納 言 せい しやう な ごん	331	29	小林 一茶 こばやし いっさ	112
15	与謝野晶子 よしかのあきこ	322	30	芹沢光治良 せりざわこうじらう	111

▲朝日新聞2000年6月29日朝刊データより  
あさひしんぶん ねん がつ にちいしんぶん

読売新聞（朝刊）2000年3月26日  
よみうりしんぶん ちやうかん ねん がつ にち

「対話不能の世界に希望はあるか」  
たいわ ふのう せかい きぼう

『日本語教育通信』2000年9月「新聞・雑誌から  
にほんごきやういくつうしん ねん がつ しんぶん ざっし

見る現代日本」第6回に掲載している記事は、  
み げん だいにっほん だい かい けいさい きじ

著作権の関係で掲載ができません。  
ちよさくけん かんけい けいさい

▲読売新聞2000年3月26日朝刊  
よみうりしんぶん ねん がつ にちいしんぶん

〈参考2：『共生虫』について著者が語っている記事〉  
さんこう きやうせいちゅう ちよしや かつ きじ

産経新聞（朝刊）2000年3月26日「引きこもりをなまなましく」  
さんけいしんぶん ちやうかん ねん がつ にち ひ

『日本語教育通信』2000年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」  
にほんごきやういくつうしん ねん がつ しんぶん ざっし

第6回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。  
だい かい けいさい きじ ちよさくけん かんけい けいさい

▲産経新聞2000年3月26日朝刊  
さんけいしんぶん ねん がつ にちいしんぶん



## 記事を使った練習案

今回は、二つの書評を使って、書評の文章構成の特徴を理解しながら内容を  
読み取るための練習案を紹介します。

### 1. 小説のあらすじを読み取る：

「書評A」「書評B」で、主に小説のあらすじを述べている段落を選びなさい。

### 2. あらすじ以外の部分を読み取る：

あらすじ以外の段落（練習1で選んだ以外の段落）では、何が述べられているか考えなさい。

### 3. 書評を書く：

「書評A」「書評B」の文章構成を参考にし、最近読んだ小説の書評を、以下のような内容を盛り込んで書きなさい。

\*著者について：これまでの作品やジャンル（歴史小説、推理小説、私小説、随筆など）

\*あらすじ：主人公、物語の流れ（ただし、結末は書かないこと）

\*作品への評価：内容について（作品の社会的背景、テーマ、社会的メッセージの有無など）、文章の特徴について（レトリック、文体など）

## 〈出題の解答〉

1. A…②、③ B…①、③、④の一部（「しかも……メールが届く。」）

2. 文章の解釈の仕方によってさまざまな解答が考えられます。ここでは解答例を紹介します。また、この練習は、以下に挙げた解答例を先に提示して、学習者に選ばせる練習にすることもできます。

「書評A」：①著者のこれまでの作品紹介 ④文章の特徴 ⑤作品への評価

「書評B」：②作品への評価 ④作品の社会的背景、作品への評価 ⑤読者への問いかけ

## 〈ホームページの紹介〉

### ●青空文庫：<http://www.aozora.gr.jp>

無料で利用できるインターネット電子図書館です。夏目漱石などの作家の文学作品をダウンロードして読むことができます。

### ●紀伊国屋書店：<http://bookweb.kinokuniya.co.jp>

日本で最近出版された本の内容が150～250字程度の文章で紹介されています。

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。

このコーナーの担当＝坪山由美子、長坂水晶（日本語国際センター専任講師）